

レジメンコード	レジメン名	コメント
08A001a	胚細胞腫瘍BEP(APR)	CDDP:20mg/m ² day1-5 ETP:100mg/m ² day1-5 BLM:30mg/body day2,9,16 3w毎 3-5クール行う 前回までのクールで好中球減少性発熱があればETPを20%減量する BLMの総投与量は360mgまで
08A002	胚細胞腫瘍VIP(APR)	IFO:1.2g/m ² day1-5 ETP:75mg/m ² day1-5 CDDP:20mg/m ² day1-5 3w毎 day22に好中球≧1000orPLT≧2.5万なら次サイクル延期 day22に好中球≧3000orPLT≧10万なら次サイクルのIFO,ETPを25%減量 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与) Ccr40mL/min未満ならCDDPをCDGPに変更
08A003	胚細胞腫瘍CPT-11+CDGP	CPT-11:150mg/m ² day1,15 CDGP:100mg/m ² day1 4w毎 CPT-11投与時、半夏瀉心湯7日間併用のこと
08A005	胚細胞腫瘍TIP	IFO:1.5g/m ² day2-5 PTX:210mg/m ² day1 CDDP:25mg/m ² day2-5 3w毎 day22に好中球≧450またはPLT≧7.5万なら次サイクル延期
08A006	胚細胞腫瘍TIN	IFO:1.5g/m ² day2-5 PTX:210mg/m ² day1 CDGP:100mg/m ² day2 3w毎 day22に好中球≧450またはPLT≧7.5万なら次サイクル延期
08A007	胚細胞腫瘍GEM+L-OHP	GEM:1000mg/m ² day1,8 L-OHP:130mg/m ² day1 3w毎 day8に好中球が1000-1500または血小板が5万-10万のときはGEMを75%に減量する。 好中球が1000以下または血小板が5万以下のときはGEMは投与しない。 day8を投与しなかった場合には、day15から次のcycleの投与を考慮する。 Day22に好中球<1500または血小板<7.5万の場合、次cycleは延期する。
08A011	【適外】胚細胞腫瘍GOP	PTX:80mg/m ² day1,8 GEM:800mg/m ² day1,8 L-OHP:130mg/m ² day1 3w毎
08A012	胚細胞腫瘍CBDCA(術後補助)(APR)	CBDCA:AUC=7 day1 3w毎 投与回数：2コースまで
08B005	尿路上皮CDDP+RT	CDDP:20mg/m ² RT開始後5日間,RT終了前5日間 RTのスケジュールに沿って最初と最後の5日間に投与する (33日間RTをするならday1-5,day29-33) Ccr40mL/min以上で開始(100%投与)
08B007b	尿路上皮CG療法(APR)(副作用予防)	CDDP:70mg/m ² day1 GEM:1000mg/m ² day1,8 3w毎 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与) Ccr40mL/min未満ならCDDPをCDGPに変更
08B015	尿路上皮THP膀胱注	THP:30mg/body day1 投与方法は単回注入、または維持投与。 1-2時間、膀胱内に保持する。維持投与の場合、週1回を複数回投与する。 (投与回数に関しては規定しない)
08B016AE	尿路上皮GEM+RT(副作用予防)	GEM 100mg/m ² day1 1w毎 放射線治療と併用 投与基準：WBC>2000/μL、PLT>10万/μL
08B018	尿路上皮ベムプロリズマブ(200mg/body)	ベムプロリズマブ:200mg/body day1 3w毎 *適応患者：切除不能尿路上皮癌
08B019	尿路上皮GEM+CBDCA(3週毎、APR)(腎機能障害)	GEM:1000mg/m ² day1,8 CBDCA:AUC=4.5 day1 3w毎 ※CDDP、CDGP不耐患者に使用

08B019AE	尿路上皮GEM+CBDCA(3週毎、APR)(腎機能障害、副作用予防)	GEM:1000mg/m ² day1,8 CBDCA:AUC=4.5 day1 3w毎 ※CDDP、CDGP不耐患者に使用
08B022	尿路上皮ベムプロリズマブ(6週毎)(400mg/body)	ベムプロリズマブ:400mg/body day1 6w毎 *適応患者：切除不能尿路上皮癌
08B023	尿路上皮アベルマブ	アベルマブ:10mg/kg day1 2w毎 *適応患者：根治切除不能尿路上皮癌における化学療法後の維持療法
08B025	尿路上皮ニボルマブ術後補助(240mg/body)	ニボルマブ:240mg/body day1 2w毎 術後補助療法の場合、投与期間は12ヶ月間まで
08B026	尿路上皮ニボルマブ術後補助(4週毎)(480mg/body)	ニボルマブ:480mg/body day1 4w毎 術後補助療法の場合、投与期間は12ヶ月間まで
08B027	尿路上皮エンホルツマブ ベドチン(DEXあり)	エンホルツマブ ベドチン:1.25mg/kg day1,8,15 4w毎 体重100kgを上回る患者は100kgとして算出する(最大用量125mg)
08B028	尿路上皮BCG膀胱注	BCG:80mg/body day1 投与方法は単回注入、または維持投与。 2時間膀胱内に保持する。維持投与の場合、週1回を複数回投与する。 (投与回数に関しては規定しない)
08B029	尿路上皮ベムプロリズマブ(200mg/body)+エンホルツマブ ベドチン(DEXあり)	ベムプロリズマブ:200mg/body day1 エンホルツマブ ベドチン:1.25mg/kg day1.8 3w毎 体重100kgを上回る患者は100kgとして算出。(最大用量125mg)
08B030	【適外】尿路上皮BCG腎盂内注入	BCG:80mg/body day1 投与方法は単回注入、または維持投与。 維持投与の場合、週1回を複数回投与する。 (投与回数に関しては規定しない)
08B031AE	尿路上皮ニボルマブ(360mg/body)+CG療法(APR)(副作用予防)	ニボルマブ:360mg/body day1, CDDP:70mg/m ² day1, GEM:1000mg/m ² day1,8 3w毎 計6コースで終了→ニボルマブ維持療法に移行 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与)
08B032	尿路上皮ニボルマブ(4週毎)(480mg/body)(ニボルマブ+CG後)	ニボルマブ:480mg/body day1 4w毎 尿路上皮ニボルマブ(360mg/body)+CG療法6コース施行後の維持療法 ニボルマブ(360mg/body)+CGとニボルマブ(維持療法)あわせて投与期間は24ヶ月間まで
08C005	前立腺Cabazitaxel+PSL	Cabazitaxel:25mg/m ² day1, PSL(経口):10mg/day day1-21 3週毎 PSLはプレドニゾン5mgとして2錠分1朝食後 連日投与 Cabazitaxelの投与量が25mg/body未満の時、Rp4の生理食塩水を100mlに変更 Cabazitaxelの投与量が65mg/bodyを超えた時、Rp4の生理食塩水を500mlに変更
08C011	前立腺DOC+PSL	DOC:75mg/m ² day1 PSL:10mg/day day1-21 3w毎 DOCは70mg/m ² で投与されることが多い PSLはプレドニゾン5mgとして2錠分2で連日投与
08C012	前立腺DOC(毎週)+ECT	DOC:25mg/m ² day2,9 エストラムスチン:280mg/回(1日2回)day1-3,8-10 DEX:0.5mg/回(1日2回) day1-21 3w毎

08C013	前立腺DOC単剤	DOC:75mg/m ² day1 3w毎
08C016	前立腺ダロルタミド+DOC+PSL	DOC:75mg/m ² day1 PSL:10mg/day day1-21 darolutamide:1200mg/day day1-21 3w毎 PSLはプレドニゾン5mgとして2錠分2で連日投与 DOCは70mg/m ² で投与されることが多い
08C017	前立腺ルテチウムビビポチドテトラキセタン(177Lu)	ルテチウムビビポチドテトラキセタン(177Lu):7.4GBq/body day1 6w毎 最大6回まで *適応患者:前立腺特異的膜抗原 (PSMA) 陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺がん
08E007AE	【適外】副腎GEM+カシチニブ+ミトク(副作用予防)	Capecitabine:1500mg/body 連日 GEM:800mg/m ² day1,8 3w毎 ※ミトタンカプセルは、1~2Cap1日3回から開始し、有効量まで漸増し、 血中・尿中ステロイド濃度、副作用等により適宜増減する(中止することもある)。
08F001	腎テムシロリムス	テムシロリムス:25mg/body 1w毎
08F006	腎ニボルマブ(240mg/body)	ニボルマブ:240mg/body day1 2w毎
08F007	腎ニボルマブ(240mg/body)+イピリムマブ(1mg/kg)	ニボルマブ:240mg/body day1 イピリムマブ:1mg/kg day1 3w毎 ※併用4コース終了3週間後から、ニボルマブ単独(240mg/body) (2w毎) 投与を繰り返す
08F008	腎ベムプロリズマブ(200mg/body)+アキシチニブ	ベムプロリズマブ:200mg/body day1 3w毎 *適応患者:根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する1stライン治療 アキシチニブ(インライタ) 10mg 分2経口投与併用 ※アキシチニブ20mg分2まで増量可
08F009	腎アベルマブ+アキシチニブ	アベルマブ:10mg/kg day1 2w毎 *適応患者:根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する1stライン治療 アキシチニブ(インライタ)10mg分2経口投与併用 ※アキシチニブ20mg分2まで増量可
08F010	腎ベムプロリズマブ(6週毎)(400mg/body)+アキシチニブ	ベムプロリズマブ:400mg/body day1 6w毎 *適応患者:根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する1stライン治療 アキシチニブ(インライタ) 10mg 分2経口投与併用 ※アキシチニブ20mg分2まで増量可
08F011	腎ニボルマブ(4週毎)(480mg/body)	ニボルマブ:480mg/body day1 4w毎
08F012	腎ニボルマブ(240mg/body)+カボザンチニブ	ニボルマブ:240mg/body day1 2w毎 *適応患者:根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する1stライン治療 カボザンチニブ(カボメティックス)40mg1日1回空腹時 連日経口投与併用
08F013	腎ニボルマブ(4週毎)(480mg/body)+カボザンチニブ	ニボルマブ:480mg/body day1 4w毎 *適応患者:根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する1stライン治療 カボザンチニブ(カボメティックス)40mg1日1回空腹時 連日経口投与併用
08F014	腎ベムプロリズマブ(200mg/body)+レムバチニブ	ベムプロリズマブ:200mg/body day1 3w毎 レムバチニブ:1日1回 20mg 連日内服

08F015	腎ベムプロリズマブ(6週毎)(400mg/body)+レンパチニブ	ベムプロリズマブ:400mg/body day1 6w毎 レンパチニブ:1日1回 20mg 連日内服
08F016	腎ベムプロリズマブ術後補助(200mg/body)	ベムプロリズマブ:200mg/body day1 3w毎 *適応患者:再発のリスクの高い腎癌術後患者 術後補助療法の場合、投与期間は12ヶ月間まで
08F017	腎ベムプロリズマブ術後補助(6週毎)(400mg/body)	ベムプロリズマブ:400mg/body day1 6w毎 *適応患者:再発のリスクの高い腎癌術後患者 術後補助療法の場合、投与期間は12ヶ月間まで
08G001	膀胱CDDP+ETP(APR)	CDDP:80mg/m ² day1 ETP:100mg/m ² day1-3 3w毎 放射線同時併用療法を行うこともある
08G002	膀胱デュルバルマブ+CG(術前補助)(Ccr≧60)	デュルバルマブ:1500mg/body day1 CDDP:70mg/m ² day1 GEM:1000mg/m ² day1,8 3w毎 ※Ccr60未満の場合は【膀胱デュルバルマブ+CG(術前補助)(60>Ccr≧40)】を使用する ※術前補助療法として4コース投与 ※デュルバルマブ:体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kgとする
08G002AE	膀胱デュルバルマブ+CG(術前補助)(Ccr≧60)(副作用予防)	デュルバルマブ:1500mg/body day1 CDDP:70mg/m ² day1 GEM:1000mg/m ² day1,8 3w毎 ※Ccr60未満の場合は【膀胱デュルバルマブ+CG(術前補助)(60>Ccr≧40)】を使用する ※術前補助療法として4コース投与 ※デュルバルマブ:体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kgとする
08G003	膀胱デュルバルマブ+CG(術前補助)(60>Ccr≧40)	デュルバルマブ:1500mg/body day1 CDDP:35mg/m ² day1,8 GEM:1000mg/m ² day1,8 3w毎 ※Ccr60以上の場合は【膀胱デュルバルマブ+CG(術前補助)(Ccr≧60)】を使用する ※術前補助療法として4コース投与 ※デュルバルマブ:体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kgとする
08G003AE	膀胱デュルバルマブ+CG(術前補助)(60>Ccr≧40)(副作用予防)	デュルバルマブ:1500mg/body day1 CDDP:35mg/m ² day1,8 GEM:1000mg/m ² day1,8 3w毎 ※Ccr60以上の場合は【膀胱デュルバルマブ+CG(術前補助)(Ccr≧60)】を使用する ※術前補助療法として4コース投与 ※デュルバルマブ:体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kgとする
08G004	膀胱デュルバルマブ(術後補助)	デュルバルマブ:1500mg/body 4w毎 ※術前デュルバルマブ+CG投与後の術後補助療法として8コース投与 ※デュルバルマブ:体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kgとする。
08I001	泌尿器CDDP(APR)	CDDP:20mg/m ² day1-5 3w毎 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与)
13D002	胚細胞性腫瘍CBDCA+ETP	CBDCA:450mg/m ² day1 ETP:150mg/m ² day1-3 4-5w毎 放射線同時併用療法を行うこともある
08E003	陰莖TIP療法	IFO:1.2g/m ² day1-3 PTX:175mg/m ² day1 CDDP:25mg/m ² day1-3 3w毎 day22に好中球<1400または血小板<10万の場合、次サイクルは延期する。
08E006	副腎EDP+ミトタン(APR)	ADR:40mg/m ² day1 ETP:100mg/m ² day2-4 CDDP:40mg/m ² day3,4 4w毎 ※ミトタンカプセルは、1~2Cap1日3回から開始し、有効量まで漸増し、 血中・尿中ステロイド濃度、副作用等により適宜増減する(中止することもある)。